

シズイ

Schoenoplectus nipponicus (Makino) Soják
カヤツリグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は2箇所、個体数も少ないので、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

分 布

北海道～九州に分布。本県では嶺北の山間の湿田で確認されている。

種の特徴

池沼等浅水中に生える軟らかい多年草。匍匐根茎は細く、その端に小さい塊茎を作る。全体が軟らかく、長い根出葉を持つ。

生育を脅かす要因

浅い池沼の埋め立て。山間水田の圃場整備や開発。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○						○				

マツカサスキ

Scirpus mitsukurianus Makino
カヤツリグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は2箇所、個体数も少ないので、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

分 布

本州～九州に分布。嶺北の河川敷で確認されている。

種の特徴

日当たりの良い平地の湿地に生える多年草。大株となる。マツカサスキの鱗片は披針形であるが、コマツカサスキは狭卵形である。

生育を脅かす要因

河川改修による河川敷の破壊。植生遷移で大型の植物が増加すること等による生育環境の悪化。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○

ヒロハノドジョウツナギ

Glyceria leptolepis Ohwi
イネ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内での確認例は現在のところ少なく、生育数も多くない。

分 布

全国分布は、北海道～九州。県内分布はあわら市。

種の特徴

山間の谷川や水湿地に生える。茎の高さは90～180cm。葉は長さ10～35cm、幅3.5～15mm、両面ともざらつく。裏面はやや粉白、葉鞘は節間よりも長い。茎頂の円錐花序は長さ15～25cm、広く分岐する。小穂は長さ6～8mm。扁平で5～7個の小花からなる。

生育を脅かす要因

植生遷移や開発による水辺環境の悪化。

参考文献

福井県植物研究会（1998）、畔上能力ほか（2013）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○				